

第1回「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」資料

第4期 神戸市教育振興基本計画について

2023.11 神戸市教育委員会

会議開催の趣旨

○教育振興基本計画

教育基本法第17条第2項に基づく「地方公共団体の定める教育の振興のための施策に関する基本的計画」

- ・本市においては、令和2年度、第3期神戸市教育振興基本計画を策定。
「心豊かにたくましく生きる人間」の育成を目指し、2つの基本政策及び14の重点事業のもと教育施策を推進している。
- ・今年度は第3期計画の最終年度であるため、第3期計画の進捗状況や本年6月、新たに策定された国の教育振興基本計画を踏まえ、神戸市教育大綱の実現を含む神戸の教育の更なる推進に向けて、次期教育振興基本計画を策定する。
- ・計画の策定にあたっては、有識者や保護者、地域住民、児童生徒等の多様な意見を反映させる。

策定の方向性

1 簡素化・重点化

- ・策定にあたっては、神戸の教育が目指す方向性を分かりやすく示すとともに、保護者、地域住民等に広く発信していくため、全般的に簡素化・重点化を図る。

2 (仮)教育ビジョン

- ・これからの時代において、子供たちをどのように育てていくのか、目指すべき姿を共有するため、「(仮)教育ビジョン」を新たに策定する。

3 基本政策（施策の基本方針）等

- ・現計画において14ある重点事業については、大きく5つ程度の基本政策としてまとめる。
- ・成果指標についても、有効性・重要性の観点から精選していく。

2

策定の方向性

教育振興基本計画の役割

教育大綱に基づき、今後5年間に取組む教育改革の方向性を明確する。

計画に基づく施策の立案・時代の変化に対応した見直し等において、専門的・多角的な検証が行われることを担保する。

子供・保護者・教職員・教育委員会事務局・学校運営協議会・地域・その他関係者の理解・信頼を得て、それぞれの役割に応じた行動を促す。

現行計画の課題

既存施策のすべてを網羅する構成のため、焦点が不明確となっている。
個々の事業まで網羅しており、時代の変化に対応できない。

毎年度の進捗のチェックが形骸化している。※現計画：29指標
5年の間に、社会や子どもたちを取り巻く環境は急激に変化し、数値目標の的確性が不明確。

全体像が分かりにくい。
教育関係者に認知されておらず、行動につながっていない。
羅針盤となっていない。

新計画の方向性

成長する計画

個別事業は省略し、基本理念・目標・主な施策のみを掲げ、時代の変化に素早かつ確に対応し、適切な教育を実践し続ける。

データに基づく計画

学力・体力等、既に保有する数値・教育データを参考値として施策形成・見直しを行い、より効果的な教育を実践していく。

分かりやすい計画

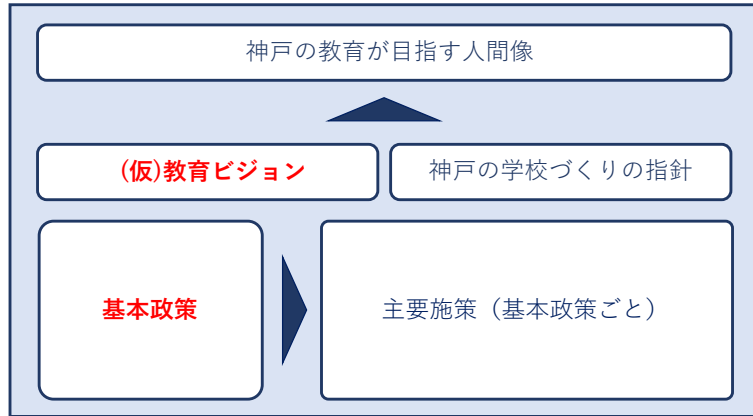
分かりやすい言葉やイメージでビジョンを示す。
目にした・読んだ方の行動を促す、神戸の教育の羅針盤とする。

3

計画期間 及び 計画の構成（案）

1 計画期間：令和6年度～令和10年度

2 計画の構成（案）



4

神戸の教育が目指す人間像

「心豊かに たくましく生きる人間」

1. 知・徳・体にわたる生きる力を身に付け、自ら学び、考え、行動する
2. 互いの人権を尊重し、多様な人々と共に生きる
3. よりよい社会を築く一員となるための資質と自覚を高める
4. 夢や志をもち、自ら目標を定め挑戦する
5. 豊かな国際性を身に付け、地域や国際社会の持続的な発展に貢献する

5

神戸の学校づくりの指針

神戸が目指すこれからの学校の姿

「人がつながり ともに創る みんなの学校」

子供たちの生きる力を育むのは、人と人とのつながり。
学校、保護者、地域の皆さんのつながりの輪の中で、
地域とともに創る学校を実現し、未来の担い手となる神戸っ子を育みます。

1 育てたい子供の姿を共有します 2 親しみやすい学校をつくります 3 子供を育む活動をともに進めます

育てたい子供の姿を保護者、地域の皆さんと共有し、連帯感を持って子供たちの学びと成長を支えます。

地域がつながる場として、みんなが訪れたいくなる、親しみやすい学校環境をつくります。

保護者、地域の皆さんとの関わり合いと連携を深め、育てたい子供の姿の実現に向けて、ともに活動を進めます。

6

(仮)教育ビジョン（教職員アンケート）

教職員より
事前に募集

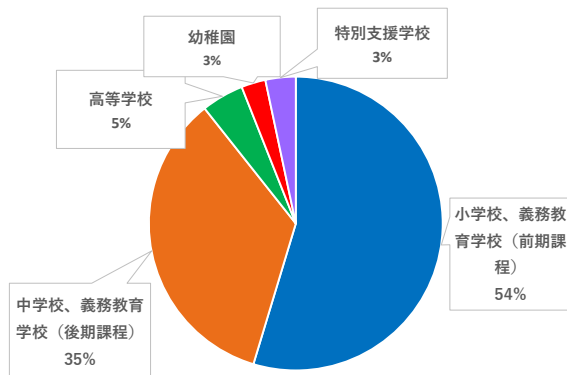
変化の激しい、予測の難しい時代に、子供たちが立ち向かえるように
5年後、10年後の「未来」を見据えて
令和6～令和10年度の5年間で、どのように子供たちを育てていきたいか

■ 募集期間：令和5年9月1日～9月15日

■ 募集対象：神戸市立学校園の教職員

■ 応募数：150名

小学校、義務教育学校（前期課程）	：82名
中学校、義務教育学校（後期課程）	：52名
高等学校	：7名
幼稚園	：4名
特別支援学校	：5名



7

(仮)教育ビジョン (頻出ワード)



8

(仮)教育ビジョン (他都市事例)

<加賀市 スローガン>

Be the Player / 自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える

<戸田市 キャッチフレーズ>

とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を

<兵庫県 重点テーマ>

『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力の育成

<千葉市 教育目標>

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

9

(仮)教育ビジョンの土台となるフレーズ

多様な仲間に触れ、お互いを尊重し、意見を出し合い、自律心や社会性、協調性を育むとともに、主体的に自分の未来を考え、新しい時代を生き抜くための力を育成する。

Ex) みんなで支え合い 自ら創り出す未来

自ら課題を見つけ、考え、乗り越える＝主体的に取り組むことで、未来を生き抜く力、相手を思いやる力を育てる。

Ex) 自分をつくる力 他人をおもう力

「自立」と「共生」、「結束」を表現。
学校とは、子どもたちが自ら考え、自ら学び、自分自身を創るきっかけを与え、可能性を広げる場。

Ex) Create Yourself , Create Our Kobe , together !

なりたい自分になる。新しい価値観の新しい教育を創り出すことにより、
答えのない時代を生き抜く子供を育てる。子どもたち自らの力で生き方を発見できるようにする。

Ex) Chance Challenge Change !

10

基本政策（施策ごとの基本方針）

○現計画において14ある重点事業を、大きく5つ程度の基本政策に

第4期神戸市教育振興基本計画 基本政策(案)

- ① 新しい時代の学びを実現する学校教育関連
- ② 個々の児童生徒に応じたきめ細かな支援関連
- ③ 学校支援と組織力向上関連
- ④ 学びを支える環境整備関連
- ⑤ 開かれた学校づくりと外部との連携、社会教育推進関連

【参考】第3期神戸市教育振興基本計画の重点事業

- ① 確かな学力の育成
- ② 豊かな心の育成
- ③ 健やかな体の育成
- ④ 一人ひとりに応じたきめ細かな教育・支援の充実
- ⑤ 人格形成の基礎となる幼児教育の質の向上
- ⑥ 特色ある高校教育・高専教育の推進
- ⑦ 神戸の国際教育・防災教育のさらなる推進
- ⑧ いじめを許さず生き生きと過ごせる学校生活の実現
- ⑨ 教職員の資質・能力の向上と学校の組織力強化
- ⑩ 教育の質を高める教職員の働き方改革の推進
- ⑪ 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備
- ⑫ ICTの基盤整備と利活用の促進
- ⑬ 地域と学校との協働による社会に開かれた教育の実現
- ⑭ 地域に生かし・つながる社会教育の充実

11

主要施策(例)

①新しい時代の学びを実現する学校教育関連

- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・ICTの積極的な利活用
- ・幼児教育の充実と幼保小の円滑な学びの接続
- ・健やかな体の育成
- ・子どもの読書活動の推進
- ・国際都市・神戸の特徴を生かした英語教育の推進
- ・教育データの利活用に向けた検討
- ・全日制高校の特色化と定時制教育の充実
- ・温かい中学校給食の提供

②個々の児童生徒に応じたきめ細かな支援関連

- ・不登校児童生徒への多様な学び場の提供
- ・特別支援教育の推進
- ・児童生徒・保護者からの教育相談機会の拡充
- ・いじめ防止対策の推進
- ・外国人児童生徒等に対する日本語指導の充実

12

主要施策(例)

③学校支援と組織力の向上

- ・働き方の見つけ直し
- ・教員の計画的採用と育成
- ・教職員の資質向上
- ・教員一人一人の着実なキャリア形成
- ・スクールカウンセラー等の専門人材の活用
- ・教科担任制の充実や学年（チーム）担任制の推進

④学びを支える環境整備関連

- ・学校規模の適正化
- ・安全・安心で質の高い環境整備
- ・ICT学習環境の充実

⑤開かれた学校づくりと外部との連携、社会教育推進関連

- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・中学校部活動の地域連携、地域移行
- ・学校施設の更なる活用
- ・学校を支援する人材の育成と活用
- ・社会教育施設における特色ある学習機会の提供

13

参考指標（例）

■全国学力・学習状況調査

- ・平均正答率
- ・授業がよくわかる児童生徒の割合
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んだ児童生徒の割合
- ・正答率4割以下の層の割合、正答率8割以上の層の割合
- ・「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合

■全国体力・運動能力、運動習慣等調査

■働き方改革の推進

- ・勤務時間外在校時間
- ・年次有給休暇等の取得日数
- ・女性管理職の割合

■ICT学習環境の活用

- ・授業にICTを活用して指導する能力があると考えられる教員の割合
- ・授業でのPC・タブレットなどICT機器の活用度

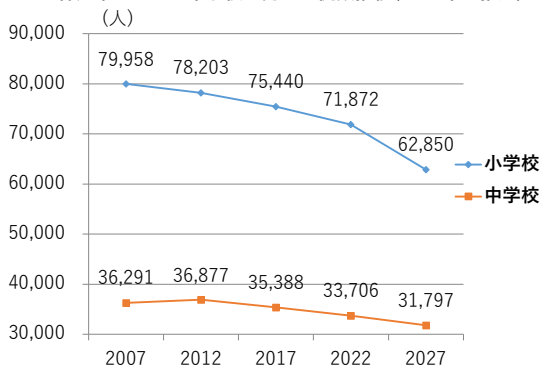
14

【参考】子供たちを取り巻く状況

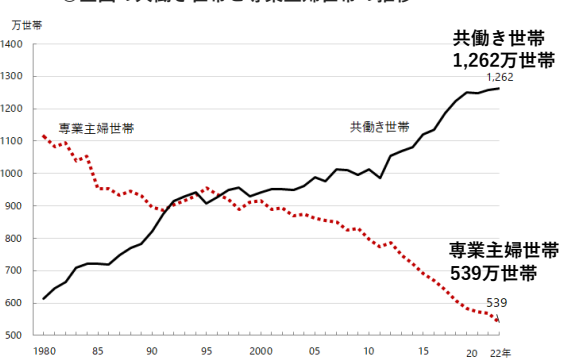
社会状況

- 少子化・人口減少や高齢化
- グローバル化の進展
- 急速な技術革新の進展（生成AI等）
- 共働き世帯の増加
- 格差の固定化

○神戸市立の小・中学校の児童生徒数推移(2027年は推定)



○全国の共働き世帯と専業主婦世帯の推移



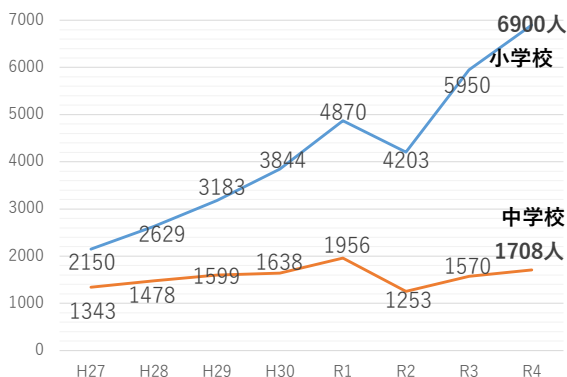
15

【参考】子供たちを取り巻く状況

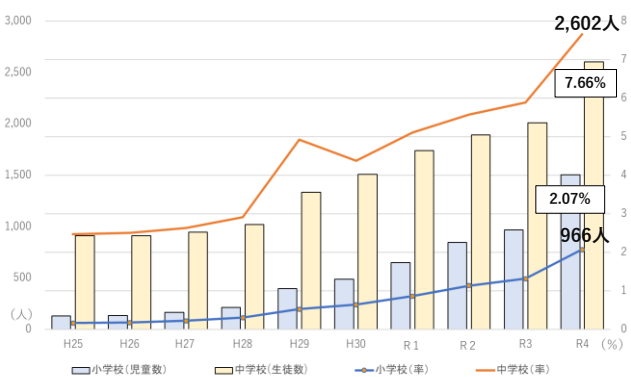
学校教育環境

- GIGAスクール構想
- いじめ認知件数の増大
- 体力・運動能力の低下
- 子どもの貧困
- 不登校児童生徒数の増大
- 教員不足

○いじめの認知件数の推移（神戸市）



○不登校児童生徒数の推移（神戸市）



16

【参考】教育振興基本計画（国）

○教育振興基本計画の考え方

- ・教育基本法の理念・目的・目標の実現は「不易」
- ・不易を普遍的な使命としつつ、社会や時代の「流行」の中で、教育の羅針盤となるもの

○計画のコンセプト（総括的な基本方針）

2040年以降の社会を見据えた
持続可能な社会の創り手の育成

日本社会に根差した
ウェルビーイング^(※)の向上

○5つの基本的な方針

- ・グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ・誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ・地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ・教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ・計画の実効性確保のための基盤整備・対話

※ウェルビーイング
身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、
短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など
将来にわたる持続的な幸福を含むもの

17

【参考】神戸市教育大綱

○教育大綱

- ・市長が定める教育の目標や根本的な方針

○7つの方針

1. 学力の向上に取組みます。
2. 教員の資質向上を図ります。
3. 学校の組織力を強化します。
4. 教員の多忙化対策に取組みます。
5. 学習の機会均等を確保します。
6. 子供たちが健やかに育つ環境を整備します。
7. 教育に関する科学的な調査研究を進めます。

「神戸の子供たちは、神戸の教育を受けて成長していく中で生きる力を身に付け、将来への夢を育んでほしい。」

私はこう願います。

そのためには、家庭はもちろん、学校、地域、行政が一体となって子供の成長を支えていくことが期待されます。

とりわけ学校教育においては、学校現場における教員の役割が大切です。子供たちは、日々身近に接する教員の影響を大きく受けて成長していくからです。

子供たちが夢や希望をもち、健やかに成長するためには、教員自身が「夢をもった子供たちを育てる」という強い信念や情熱をもち、生き生きとした姿で子供たちの前に立つことが求められます。そのような教員を育て、支えることは、教育行政の大きな使命です。

また、近年、経済格差の拡大が指摘されますが、子供たちが保護者の経済状況にかかわらず、等しく学ぶ機会を確保されるような環境を整えていかなければなりません。すべての子供に、豊かな学力、健やかな体を身に付くような施策を講じる必要があります。

教育の大綱は、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について定めることとされていますが、今回定める神戸市教育大綱においては、とりわけ市民の関心が高い小中学校を中心とした学校教育に重点を絞って定め、今後、ほかの分野にも広げていくこととします。

また、教育行政は他の行政分野と密接に関連することから、教育委員会と市長部局が今度以上に連携を強める必要があり、神戸市教育大綱はすべての執行機関の事務を対象とします。

現在、神戸の教育は、第2期神戸市教育振興基本計画に基づいた取組を行っており、神戸市教育大綱では、引き続き「人によって人になる」という教育理念のもと、国計画では具体的に明らかにされていない事項や特に課題のある事項について、7つの方針を定める。

神戸の子供たちの健全な育成を目指すとともに、神戸が教育の分野においても全国から「選ばれるまち」となるように取組んでいきます。

神戸市長 久元 喜造

18

【参考】第3期神戸市教育振興基本計画

基本政策 1

心豊かに たくましく生きる 神戸の子供を育む

1 確かな学力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進、個に応じた指導の充実

2 豊かな心の育成

- ・自他の命を大切にする教育の推進

3 健やかな体の育成

- ・児童生徒の体力向上

4 一人一人に応じたきめ細かな教育・支援の充実

- ・教育と福祉の連携による幼児・児童生徒への支援の充実

5 人格形成の基礎となる幼児教育の質の向上

- ・幼稚園教育要領に基づく教育の充実、公私幼保の質の向上に寄与する研究・発信

6 特色ある高校教育・高専教育の推進

- ・全日制高校における魅力・特色づくりの推進、役割の多様化に応じた定時制教育の充実、時代の変化に対応した高専の教育内容の充実

7 神戸の国際教育・防災教育のさらなる推進

- ・国際都市神戸としての英語教育の推進、生きる力を育む神戸の防災教育の推進

基本政策 2

安全・安心で楽しい学校を築き、地域と共に子供を支える

8 いじめを許さず生き生きと過ごせる学校生活の実現

- ・いじめ対応に関する知識・技能の向上とチーム対応の推進
- ・専門スタッフの体制強化と重大事態等への適切な対応の推進

9 教職員の資質・能力の向上と学校の組織力の強化

- ・学校の組織力強化や学校への指導・支援の充実
- ・高い倫理観と規範意識のある教員の育成、コンプライアンス意識の醸成された職場環境の構築

10 教育の質を高める教職員の働き方改革の推進

- ・学校業務の適正化の推進、教職員の事務負担等の軽減

11 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備

- ・学校の適正規模化、学級増対策の推進、学校園施設の機能向上

12 ICTの基盤整備と利活用の促進

- ・「超スマート社会」の到来を見据えた学校のICT学習環境整備の促進

13 地域と学校との協働による社会に開かれた教育の実現

- ・地域に開かれた学校運営の推進、学校を支える人材の育成・教員志望者の育成

14 地域に活かし・つながる社会教育の充実

- ・生涯の「学ぶ」機会の充実、地域に還元する「活かす」学習活動の支援

19

【参考】第3期神戸市教育振興基本計画の進捗状況

○成果指標の進捗状況

- ・「概ね想定どおり進捗している」項目：14指標、「進捗上、課題が見える」項目：15指標

○主な課題

<学力・健やかな体の育成>

- ・全国学力・学習状況調査において、中学校の国語を除き、いずれの教科も正答率が全国平均を上回る一方、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、一層の授業改善を進める必要がある。
- ・「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合が全国平均を下回っている。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、改善傾向が見られるものの、全国平均を下回っている。

<特別支援教育の推進>

- ・「個別の指導計画」、「ネットワークプラン」等の資料の引継ぎが不十分である。

<働き方改革の推進>

- ・主幹教諭やスクールサポートスタッフの配置は目標どおり進んだものの、勤務時間外在校時間については令和2年度から減っておらず、教職員の多忙感についても令和2年度と同水準に留まっている。

<授業にICTを活用して指導する能力があると考えられる教員の割合>

- ・全国平均を下回るとともに、教員間の格差が大きい。